

県立病院の経営形態に係る行政機構審議会における意見の概要

行政改革課

第 10 回：平成 20 年 7 月 10 日

医療崩壊は医師不足から来ている。経営形態を変えればうまくいくかどうかは実証できていない。国立病院等は独法化したことにより黒字にはなったかもしれないが、地域における役割は果たせていない。県立病院は地域医療を担っている。医師確保は経営形態を変えてもうまくいくかどうか分からないから、経営形態の変更は慎重に考えるべき。

県立病院の見直しは赤字が累積してきていることから来ている。独法化しても黒字にはならないかもしれないが、赤字を減らすことはできるのでは。医師確保については、医学部の増員が図られたが、実際に増員になるまで 10 年かかる。この 10 年の間、現在いる医師を確保できるような環境づくりが必要ではないか。